

豊岡市から ひとりも災害犠牲者を 出さないために。

防災活動のはじめの導入 編



国土交通省 近畿地方整備局
豊岡河川国道事務所



豊岡市

目次

- ① なぜ今「防災」か？
- ② 災害時に必要な防災
：避難を考える

防災情報収集を
知る

やっぱり必要な**防災**

・人間の“**想定**”を超えてくる自然災害 ～毎年のように**記録更新**をする大雨災害～

- ・ 河川堤防をつくるなどの備えを国土交通省・兵庫県・豊岡市で進めている。
 - ・ 堤防などの備えは、過去の災害などに基づいた“想定”を決めて作られている。
- ・ その“想定”を超える大雨が近年 全国各地で見られる。

円山川の堤防

100年に1度の
確率の大雨に
耐えられるよう設計

円山川流域で
2日雨量327mm

平成16年台風23号

40年に1度の
確率の大雨

円山川流域で
2日雨量278mm

平成30年7月豪雨で、豊岡市で**327mm**を記録。
幸い、堤防がギリギリ耐え、深刻な被害は起きなかった。

86名

熊本県 長野県

105名^{死者}

2020年 令和2年7月豪雨

2019年

令和元年 東日本台風

全国各地で記録更新が続く豪雨災害

2018年 平成30年7月豪雨

2017年 平成29年7月九州北部豪雨

死者 263名

岡山県 大分県

40名^{死者}

平成16年台風23号 (2004年)

主に、2004年10月19日
～10月21日

豊岡市 死者 **7人**

全国 死者・
行方不明者 **98名**

全世帯の半数が浸水

堤防決壊

円山川・出石川



国交省豊岡事務所前東を望む
(2004.10.21撮影)

豊岡市での風水害

年月日	洪水要因	流域平均 2日雨量	最高水位 (立野)	浸水戸数
平成30(2018)年07月06日	平成30年7月豪雨	327mm (速報値)	6.96m	426戸
平成29(2017)年09月17日	台風18号	169mm (速報値)	6.08m	331戸
平成16(2004)年10月20日	秋雨前線・台風23号	278mm	8.29m	7,944戸
平成 2(1990)年09月20日	秋雨前線・台風19号	364mm	7.13m	2,508戸
昭和54(1979)年10月19日	台風20号	211mm	6.74m	1,016戸
昭和51(1976)年09月10日	台風17号	322mm	6.92m	3,022戸
昭和40(1965)年09月10日	台風23号	233mm	6.86m	7,788戸
昭和36(1961)年09月15日	第二室戸台風	184mm	6.87m	1,933戸
昭和34(1959)年09月26日	伊勢湾台風	253mm	7.42m	16,833戸

(国土交通省豊岡河川国道事務所「明日へ生かそう！地図が伝える水害体験」より)

※ 浸水戸数は、旧豊岡市、旧城崎町、旧日高町、旧出石町の数値。

※ 流域平均2日雨量:「円山川河川整備計画(平成25年3月、近畿地方整備局)」

計画規模

水想定区域図(計画規模)図郭割図



100年に1回程度の大雨を想定

円山川流域
48時間の
総雨量**327**mm

想定最大規模

円山川水系円山川・出石川(想定最大規模)図郭割図



1000年に1回程度の大雨を想定

円山川流域
48時間の
総雨量**504.8**mm

2つの想定がありますが、**豊岡市**では、**計画規模降雨**を採用し、**指定緊急避難場所**を定めるなど、**防災上の指針**としています。

自分の命は自分で守る(自助)を原則に考える必要がある

- **行政の予測・予報は、必ず適時適切に出るとは限らない**
 - 気象庁 気象予測も正確になってきたが、**完璧に予測ができるわけではない。**
 - 豊岡市役所 兵庫県で最も広い豊岡市全域を**大雨時に、市内各所の状況把握することはできない。**場合によっては、避難情報発令が手遅れの段階になっていることも考えられる。
- **行政に頼りきらず、危険と感じたら(思ったら)、避難することがやっぱり大切**

地域社会が一体となって進める防災が必要

- 行政だけが進める防災だけでなく、
個人・家庭で進める防災、地域で進める防災も必要

- 防災で最優先に考えるべきことは、「命を守る」こと。
- 防災は、あなた自身だけでなく、あなたの家族、
あなたの大切な人の命にも関わる問題です。



原則



みんなで進める 豊岡防災

目標

- ・自然災害による**犠牲者を出さない**
- ・**地域社会が一体となって、自然災害に対応できるまちづくり**

目標を達成するための主な問題・課題

- ① 災害犠牲者を出さないためには、やっぱり『避難』が大事。ただ、**避難(開始のタイミング)の判断が難しい。**
- ② 『避難』は市民自身がするものだからこそ、**市民の意識啓発が必要。**
- ③ 災害犠牲者の多くは、高齢者が多いので、ひとりで逃げられない**高齢者等の避難支援が必要。**
- ④ 市民それぞれで対応してもらおうことが必要なことが多いので、**災害時の情報伝達・対応を事前に考えておくことが必要。**

みんなで進める **豊岡防災** を始めるために

問題・課題解決のために必要なこと

1 情報収集

日頃や、台風・大雨接近時などにも重要な情報収集

2 避難計画

避難するタイミングや、避難先を決めておく

3 周知徹底

タイミングや避難先をみんなで共有しておく

みんなで進める **豊岡防災** を始めるために

問題・課題解決のために必要なこと

